

## 白井第三小学校区まちづくり協議会 第7回設立準備会 議事録(概要)

書記: 斎藤一夫

大野 彰

日時 令和2年6月20日(土) 15:00~16:30

会場 富士センター大集会室

出席者 委員 21名(本間校長代理出席 大友教頭)

傍聴: 森岡義人(自治連合会第三小学校区支部長)

欠席: 舟野委員、藤田委員、川越委員、鈴木委員、高橋委員

支援チーム 6名 市民活動支援課 3名

議長 島森会長

### 会議概要

島森会長の挨拶。

新型コロナウイルス感染予防対策として設立準備会は3か月間中断してきたが、本日より第三小学校区  
のまちづくり準備会を再開し真剣に話し合ってもらいたい。

### 白井市人事異動によるメンバー(一部変更)についての紹介(松岡氏)

市民課環境経済部環境課岡田部長の挨拶

(市民活動支援課)

市民活動支援課 松岡正純課長

小学校区まちづくり新規担当 保科恭子市民活動支援課係長

小学校区まちづくり新規担当(サブ)紫尾拓斗市民活動支援課主事

(白井第三小学校区まちづくり支援チーム)

市民環境経済部環境課 川上利一主任主事(リーダー)

総務部公共施設マネジメント課 斎藤 悠 主事補(チーム員)

企画財政部財政課 元田和寿主査(サブリーダー)

都市建設部都市計画課 石田俊之主査補(サブリーダー)

福祉部高齢者福祉課 安岡紹子主査補(サブリーダー)

健康子ども部健康課 今井利恵主任保健師(サブリーダー)

### 前回のふりかえりと進捗報告(説明)

松岡氏による説明

新型コロナウイルス感染防止に係る今後の公共施設の利用について

(保科氏による説明: 資料2及び3))

白井市内の公民館やセンター等における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインの説明。

施設の利用再開についての説明。

### これまでのまちづくり協議会設立に向けての流れの説明(松岡氏)

① 令和元年7月13日の「まちづくりセミナー」の開催が出発点

② 令和元年8月は18日と31日に準備会設立会議を2回開催

会議で規約、組織、役員、活動計画及びアンケート調査の中身について打合せ。

- ③ 令和元年9月22日準備会を発足し12月までに4回の会議を開催。  
住民800名を対象にアンケート調査を実施し、地域のニーズと現状把握を実施。  
その内の2回はまちづくりトークを行い第三小学校区の住民の皆さんにも呼び掛け  
ワークショップ形式で意見交換を実施。
- ④ 令和2年1月11日の準備会では目指す地域の未来像について話し合い。
- ⑤ 令和2年2月8日には「まちづくりトーク」では地域の課題をどのように解決して  
いくかについてアイデアを出し合った。

この間、役員の皆さんと市の事務局員とでそのたびごとに打合せを行った。そして  
準備会広報の皆さんの協力で広報誌を第4号まで発行した。  
それ以降は新型コロナウイルス感染の影響で会議の開催はできず。  
今回再開し、6月以降の進め方については議題2として話し合い。

### 議題 1 : 設立準備会への自治会の参画について

現在設立準備会の委員は23名でそのうち自治会関係として自治連合会第三小学校区支部  
から2名が推薦され委員として参加している。(齋藤氏、藤田氏)

第三小学校区には富士西、富士南園区、オージーコートヴィレッジ、復四、丸山、富士東、  
栄区、白井木戸、白井ロジューマン、富士の10の自治会がある。  
準備会、ワークショップの中でまちづくり協議会を進めていくうえで基本となるのは自治会である  
ため、全部の自治会に参加していただくことが必要ではないかとの意見を受け事務局が代表し  
て各自治会の本準備会への参加を提案したい。

「白井第三小学校区まちづくり協議会設立準備会規約」では、  
「第5条 準備会の委員(以下「委員」という)は、準備会の目的に賛同し、白井第三小学校区で  
活動する団体等から推薦された者及び白井第三小学校区に在住する公募市民等とする。」と  
規定されており、本規約に基づくと準備会にすべての自治会が入ることには問題無し。

【質問 1】 自治会が本設立準備会に入るのは当然だと思うが、なぜ最初の段階で自治連合会  
第三小学校区支部として2人であったのか？

【回答】 設立準備会を立ち上げる際、準備会の委員について話し合ったが、検討を進めるう  
えで適切な人数として20人程度が良いのではないかとことから団体の規模により  
参加いただく人数を決めた結果、自治連合会については、代表して2人の参加とな  
ったもの。

高齢者団体についても当初2団体から2人であったが、検討を進める中で全団体か  
ら参加していただくことが良いのではないかと意見があり、全団体に参加いただく  
よう変更している。

【質問 2】 栄区長の話では、本会にメンバーとして入らなかったことについては知らなかった。  
前区長からの話もなかった。自治会との密な話し合いをもってここで話をするのが

当然なはずではないか？

【回答】 自治会がまちづくりの要であることは十分承知している。毎月開かれている自治連合会第三小学校区支部の会議にも毎回出席し、進捗状況等については説明を行ってきた。まちづくり協議会設立準備会で説明会等を行う場合には齋藤前支部長にもお願いし各自治会長への参加をお願いしてきた。

周知については十分やってきたつもりであるが会議の広報の仕方について問題があったのかについては反省する点もある。今後は地域の住民に聞けば 10 人中 6 人位は知っているというような通知方法を考えていくことも必要。

広報の皆さんも周知のために頑張って広報を発行して頂いている。

【質問 3】 自治連支部の会合では各自治会への周知は行っているが、まちづくり協議会が自治連に何を望み、何を目的にどこに〆着地したいのか不明確。新しいまちづくりについて理解はしているが自治連の意識がそこまでっていない。

【回答】 何を目的に何を着地点にするか今は持っていない。いいまちづくりをしようということで、着地点についてはこれから決めていくことではないか。人によって物事のとらえ方は違うが、皆さんの意識をこちらに向かわせるのがこれからの仕事である。

【質問 4】 以前に大津が丘の地区社協を訪問・見学したことがあるが、そこでは地区社協が自治連やPTAなどをまとめ、祭りや交通安全の組織が催し物等を行っていた。今は漠然とそのようなことを始めるのかというイメージを浮かべているがそれでよいのか？

【回答】 地域の多様な団体・組織が互いに連携し合い協力をしあいながら地域の課題や防災や安全の課題を解決していく活動を行うことをめざしていくのがまち協。今の話は福祉に関してだが、防災などもある。福祉をキーとしてかかわる団体のみならず自治会やいろいろな関係者で地域福祉を推進していくための考え方としては一致している。

【意見】 事務局が提案していることは自治会長そのものが意識をもってなかったことも含めてまちづくりでの問題であった。これまで 7 回の会議を持ってきたが、一般の人の意識がない。団体でかかわっているが団体の長。まち協は自治会が中心になる。区民を動かすのはやはり自治会長が旗をふり、一般の市民・区民が動き出すという前提がある。まちづくりはそこが原点である。だから自治会長に参加してもらおうという提案。自治連の支部長が区長を集め 1 年間行ってきたことが伝わらなかったことは間違いないことである。従って自治会長には直接このまちづくり協議会に入ってもらい皆さんと統合した形で運営していく必要がある。今回は各自治会長が入ったうえで目標を見つけていくことが必要であるための本提案である。今まで検討を進めてきたが、ゼロからでもいいと思っている。そこからスタート。

【質問】 自治会長は既にこのまちづく協議会に参加することで了承を得ているのか？

【回答】 順番で行くと了承は得ていない。本日皆さんの了承を得られれば各自治会長に

入って頂けることになるので、各自治会長に本会の委員に入ってもらい議論に加わって頂くよう要請する。

【質問】 各自治会長はこの4月で交代し代表が変わったところも多いはずである。役所としてはこれを把握しているのか？把握している場合、新しく変わった自治会長にも入ってもらうのか。

【回答】 役所もまちづくり協議会もそれは把握しており、新しい自治会長に入ってもらう。本日この議案に賛成を得られれば今晚開催の自治連合会第三小学校区支部の定例会議で松岡課長より自治会長に参加をお願いする。

【採決】 各自治会長の本準備会への参加については全員の挙手で賛成が決定。

## 議題 2 : 設立準備会のスケジュールの見直しについて

2月8日の準備会以降5か月弱のブランクがあった。当初の予定ではまちづくり協議会設立の予定は本年7月であった。本会を進めていく過程で皆さんの中からは十分な議論を繰り返し、スケジュール通りに進めて行く事は大切ではあるが皆さんと一緒に積み上げていくことが大切であるとの意見であった。今回資料4の形での内容の見直しを行ったので事務局から提案をしたい。

スケジュールとしては中断されるまでは1か月に1回を目途に準備会を行ってきた。昨年の11月には1か月に2回行われ、11月と12月で3回実施されたが皆さんの負担を考えると1か月に1回の割で進めていきたい。次回第8回目の準備会は新たに自治会が加わるためこれまで6回の準備会を積み上げてきた23名の委員と新しい自治会のメンバーを含めた準備会になる。従って8回目の準備会では、委員の皆さんはこれまでのふり返りを再度行い自治会のメンバーを加えてこれまでに行ってきた事柄を振り返り、なおかつ小学校区単位のまちづくりの意義及び考え方、そして目指していく方向性を共通理解しえるような会議にすることが必要であると思われる。従って6月と7月の準備会は第2段階へ入っていくための準備会となる。従ってこれまで行ってきたような一つ一つを決めていく会議にはならない。そうすると8月の9回目の準備会が来年2月に向かっての次の決め事を検討してゆく準備会となり、来年3月のまちづくり協議会の設立に向けての最後の準備会となる。そして年度明けの4月又は5月がまちづくり協議会の正式の設立となるスケジュールを考えている。新しい年度の切り替え時期が新しいスタートをきるのにふさわしいと思われる。ただしこれは新型コロナの感染が拡大しないことが前提である。逆に拡大するようなことがあればその分あとにずれて行く事になる。

これからの検討事項としては大きく分けて「課題解決の取組の検討」と「まちづくり協議会の検討」である。昨年は地域の現状及び地域の課題の把握を行った。検討の方は事務局会議で相談し準備会で提案をしたうえで進めていきたい。広報でも各タイミングで皆さんにお伝えしていきたい。本内容で皆さんに提案をしたい。

【提案】 次回より自治会の新メンバーが加わるため、次回の1～2回を準備会議とし、これまでの反省と勉強会として余裕をもってスケジュールを組みたい。これまで1年間行ってきた成果はあるが、もう一度内容の確認・反省を含めた会議の進行はどうか？  
2月までに行ってきたこととこれからやろうとすることは丁度分岐点となる。そして自治会のあたらしいメンバーにはまちづくり協議会の意義や考え方を十分説明し今後どのようなことを決めてゆくかを皆さんで確認し合い、第2段階目に入っていくという案である。本提案に対し意見があれば出してほしい。

【質問】 各自治会長の賛同の意思確認をすることがまず必要であるのではないか。

【回答】 本日、自治連合会第三小学校区支部の会合があるため、そこで説明をしたい。

【意見】 各自治会長にもいろいろな意見があると思われるので、まず先方の意思を確認し受け皿を作ったうえで来てもらうとの発想で行うことが必要である。来るのが当然であるとの考え方はおかしい。

【回答】 自治会長に本準備会に入ってもらうことは本会で承認された。自治会によっては準備会に入ることを躊躇する自治会もあるかもしれないが、そこは当然連携して全体のまちづくりという概念をもって行政も参加しているので、今晚の自治連合第三小学校区支部の会合で松岡課長より準備会の大きなテーマの意思を伝えてもらい参加してもらえよう説得をしよう。

松岡課長からはまちづくり協議会全員の意思として自治会長の参加をお願いしその趣旨を伝える。どうしても参加できない自治会があればどのようにすべきか。

【意見】 これは第三小学校区全体でやる事業であるので強制ではないが、第三小学校区に住んでいる以上はお願いをするしかない。

自治会にもそれぞれの事情があると思われるが、それらを包み込んだうえでこのまちづくり準備会が屋上屋を作ることがないようにすべきである。

【回答】 自治会の対応については自治連合会の支部で話し合ってください。

正式なまちづくり協議会ができた際に各自治会長と話し合うことになる。現在の準備段階では個々の自治会には準備会からは口を出すことはできない。

【採決】 緩やかな会の進行ということで余裕をもって急がず、慌てず、淀まず事務局の提案通り第2段階で進めることで賛成を得た。

### 議題 3 : 次回準備会と今後の予定について

新型コロナ感染対応による先行き不透明なところはあるが、これからは大事な側面に入っていくことになる。このまちを良くしていこうという最終的な皆さんの気持ちをあわせて行く事につける。一進一退を繰り返していくかもしれないが最終的にはこのまちの未来を考えていくことに貢献していくはずである。新しい第三小学校区の皆さんと共にまちづくりを作っていく第2段階を進めていけるよう事務局も頑張っていくので委員の皆さんも協力をお願いしたい。

**【今後の準備会の予定】**

第8回準備会：7月26日(日)午後5時～7時 富士センター2階 大集会室で開催

第9回準備会：8月22日(土)、23日(日)、29日(土)、30日(日)の内から会議を

開催したい。この中より事務協で日程を決め、皆さんに連絡をする。

(会議後は、テーブルと椅子を消毒することになっているので協力をお願いしたい。

次回の会議に当たっては会議場設定準備のため、会議開始の45分前に来てもらえればありがたい。)

以上